登録の現況
続く減少傾向

血統登録は前年の９割切る

令和５年度（令和６年１月末現在）の都府県別の血統登録、移動証明をはじめ各種申込並びに会費納入件数を下表に示しました。

血統登録雌牛申込頭数は個別・自動登録含め、３万３８０頭で前年同期と比較して４０７３頭、率にして88・2％と令和に入ってから一番の減少となりました。

一昨年から続く円安による購入飼料をはじめ生産資材の価格高騰など、酪農家にとって厳しい情勢が続いており、その影響を受け酪農家の離農が増えていることが登録頭数にも大きく影響していると思われます。さらに、F1生産が増えていることも、ホルスタイン種雌牛と登録頭数の減少に繋がっていると思われます。

登録頭数の減少はここ数年続いておりますが、登録申込みされている酪農家の皆様や登録普及推進に尽力いただいている登録委員および関係者の皆様に、厚く感謝申し上げます。

自動登録率は増加

都府県における自動登録実施農家戸数は１８８８戸、自動登録頭数は２万３０３３頭で前年同期比2392頭の減少となりました。

自動登録においても、半数以上の県で減少している中で、群馬県（98頭）、長野県（37頭）、福島県（36頭）、岩手県（31頭）、福岡県（24頭）、青森県（21頭）では二桁の増頭となるなど、血統登録全体に占める自動登録率は75・8％で、前年度よりも2ポイント上昇し、年々その割合を増やしています。

審査期間中の審査委員による推進や、日本ホル協職員が出向いて開催する県単位の講習会も再開したことから、自動登録に移行する農家も増えており、地道な活動の成果と捉えております。

また、個別登録よりも安価で、かつスピーディに登録されるのが自動登録です。昨年８月から、ゲノミック評価の情報提供のスピードアップ化を図るため、毎週「ゲノミック評価速報値」が計算されるようになり、従来よりも早くゲノミック情報を確認できるようになりました。しかし、無登録ではゲノミック評価値は出ません。いち早くゲノミック評価値を知りたい場合、自動登録がお勧めですので、引き続き自動登録にご理解とご協力のほどお願いします。

自動登録の増加で移動証明は減少

本年１月末現在の移動証明申込件数は１８４３頭で、前年同期比で51１頭の減少となりました。

自動登録農家では移動証明の申込が不要なので、自動登録の普及により、移動証明の件数は減少しますが、今般の大幅な減少は離農や導入牛の移動証明申込み忘れ等の理由ではないかと考えております。

一方、個別登録農家では、所有者の変更に伴う移動証明申込みが必要です。個体識別センターに異動報告を行っても、登録上の所有者を変更したことにはなりません。車と同じように名義変更は必要です。引き続き、移動証明の申込みを忘れないようお願いします。

会員数は５年間で１０００件減少

会員からの会費納入件数は3852件で、前年度同期に比べて339件減少しています。平成31年1月末の会費納入件数と比べると、この5年間で１０００件以上減少しています。

長引く厳しい情勢の下で、酪農家戸数の減少はす。

（事業部・國行）

自動登録をスムーズに行うために
事業部登録課より

日本ホル協では申込方法が簡便な「自動登録」を引き続き推進しており、今年度の都府県における自動登録率（血統登録雌牛のうち自動登録によるものの割合）は76・7％まで増加する見込みです。会員の皆様にはご理解ご協力を賜りまして誠に感謝申し上げます。

自動登録は、「申込書」ではなく、出生報告と授精報告を「データ」の形で日本ホル協が受け取り、それらを元に血統登録証明書を発行するという血統登録の方法です。

申込書の提出は不要ですが、「出生報告」や「授精報告」の内容が間違っていると、血統登録証明書の内容も間違ってしまいますので、報告の際には十分な注意が必要です。

ETを誤ってAI登録

以前から散見されている事例で、受精卵移植（ET）によって生まれた産子なのに、人工授精（AI）産子として自動登録されてしまったという誤りがあります。

誤りの原因には、授精報告の際にETであることを報告せずに、受精卵の種雄牛の略号を報告してしまったというケースが見られます。ETの場合の報告にはくれぐれもご注意願います。

なお、自動登録ではET生産牛を血統登録することができません。ET生産牛は、血統登録に必要な確認作業があるためです。具体的には遺伝子型検査による親子判定や、受精卵証明書・移植証明書の提出などです。よって、個別に血統登録申込書の提出が必須です。

また、このような血統登録の誤りが判明した場合は、血統登録証明書を回収し一旦登録を取消して、再度ET生産牛としての血統登録申込をしていただき、再登録をすることになっております。

希望名号早めに連絡を

自分の牛に付けたい名号がある時、個別の登録では申込書に希望する名号を記入していただきますが、自動登録では申込書提出が不要なため、別の方法で希望名号の連絡をお願いしています。

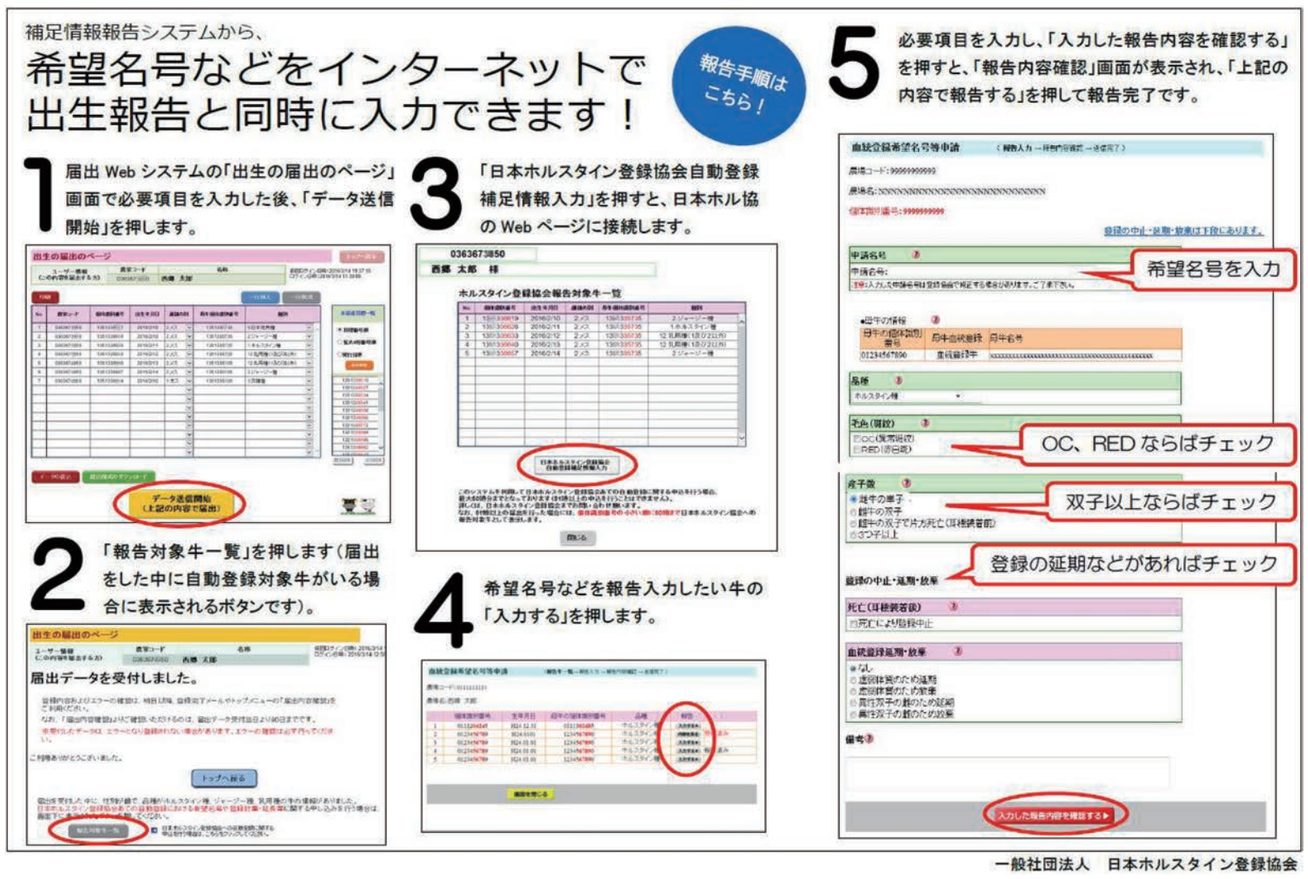
自動登録は、出生報告から約10日後には血統登録証明書を印刷発行しています。印刷発行する前までに希望名号の連絡がない場合は、システム上の自動命名によって名号を決めてしまいます。

希望名号を付けたい場合は、出生報告から1週間以内に連絡をしていただきますよう早めの対応をお願いします。

希望名号の連絡方法で、一番連絡が早くて確実なのが「補足情報報告システム」です。このシステムは自動登録農家限定のサービスで、家畜改良センターの「届出Ｗｅｂシステム」から出生報告した後、続けて希望名号が入力できるというものです。出生報告と同時に希望名号を連絡できますので、確実に血統登録証明書に希望名号を印刷発行することができます。左図の入力手順をご覧いただき、ぜひ利用してみてください。

また他の連絡方法として、「自動登録実施農家連絡書」という用紙に記入してFAXする方法があります。手書きの場合は特に、「ア」と「マ」、「シ」と「ツ」、「コ」と「ユ」など読み取り間違いが起こらないように、分かりやすくはっきりと書くようご協力をお願いします。

（事業部・門間）



今後の行事
日本ホル協

◇第321回理事会
3月22日（ビジョンセンター品川）
◇第322回理事会
5月31日（ビジョンセンター品川）
◇第323回・第324回理事会
6月21日、都内
◇第74回通常総会
6月21日、都内
◇令和6年度地区別登録委員研修会
7月中旬～8月上旬、各ブロック開催
◇支部・承認団体夏期登録事務担当者会議
7月中旬～8月上旬、各ブロック開催
◇中央審査研究会
9月下旬、場所未定

第45回通常総会
全国ホルスタイン改良協議会
―酪農危機をともに乗り越えて―

全国ホルスタイン改良協議会（中六角保広会長）は2月22日、（一社）家畜改良事業団会議室において第45回通常総会を対面とWebを併用したハイブリッド形式により開催し、令和5年度事業報告並びに収支決算報告、令和6年度事業計画案並びに収支予算案について協議し、全て原案どおり可決承認された。

開会に先立ち中六角会長から、「業界危機の先に広がる新しい世界に向け酪農同志が一致団結し、更なる発展に向けともに歩んで行く」と、力強いあいさつが述べられた。

令和5年度事業等報告

事業報告では、第10回全日本ブラックアンドホワイトショウを2023セントラルジャパン ホルスタインショウと第9回に引き続き共同開催し、全国24都道府県182頭出品のもと、体型資質の改良水準の比較検討を行ったことが報告された。また、後継者育成を目的としたリードマン講習会とリードマンコンテストに加え、学校チャンピオン並びに最優秀学校決定審査を実施したことが報告された。

次に、宮崎県では初開催となったジャッジング・スクールについて、宮崎県乳用牛改良同志会並びにJA宮崎経済連の協力のもと、全国15都道府県から総勢126名の参加により盛会に開催されたことが報告された。

なお、来年度事業計画では、ジャッジング・スクールを秋季に愛知県において岐阜県と共同開催すること、セミナー・酪農講演会については、時々刻々と変わる世界情勢、或いは国内情勢について研修会を開催するとともに、国内優良遺伝子の有効活用が図れるよう情報発信を行っていくこと等が報告された。

認定ジャッジマン10名

宮崎県で開催したジャッジング・スクールにおいて優秀な成績を修め、新たに認定ジャッジマンの資格を取得した10名は次のとおり。全国各地の共進会並びにB&Wショウでの活躍に期待したい。

【新認定ジャッジマン】
木村吉里氏（北海道）・佐々木宏之氏（北海道）・吉田智貴氏（北海道）・山内誠氏（北海道）・中六角保広氏（岩手県）・小俣行弘氏（東京都）・木本洋一氏（一社）ジェネティクス北海道）・高橋良典氏（株）野澤組）・山田拓嗣氏（ABS（株））・釘田貴博氏（ABS（株））

中六角会長

表　各種登録等申込み状況（令和5.4.1～令和6.1.31）

県名	血統登録申込 累計	血統登録申込 同期比	自動登録申込 累計	自動登録申込 同期比	移動証明申込 累計	移動証明申込 同期比	会費 累計	会費 同期比
青森	631	−21	364	21	89	−13	133	−10
岩手	3,853	−120	1,940	31	306	−20	577	−44
宮城	418	−72	331	−41	8	−2	151	−9
秋田	274	−74	268	−76	3	3	54	−5
山形	350	−69	233	−39	13	−4	96	−11
福島	959	−60	803	36	36	−30	194	−30
茨城	1,668	−245	1,484	−203	19	−26	144	−12
栃木	1,913	−277	1,682	−164	9	−165	173	−14
群馬	2,790	−317	1,758	98	267	1	155	−26
埼玉	211	−107	153	−42	1	−15	17	−17
千葉	723	−145	633	−61	7	2	78	−12
東京	148	14	91	7	7	5	23	−3
神奈川	298	17	109	−26	23	2	40	7
新潟	258	−74	85	3	12	−31	38	−7
富山	166	4	157	6	0	0	10	0
石川	25	6	19	0	1	−1	3	0
福井	94	−7	93	−8	0	0	9	−2
山梨	233	−68	189	−59	11	−17	43	−5
長野	658	10	476	37	26	−22	134	−11
岐阜	393	−102	296	−98	9	−14	37	−8
静岡	482	−138	437	−149	1	−1	88	−4
愛知	1,811	−233	1,547	−266	25	0	167	−16
三重	25	13	5	−2	7	−3	19	−3
滋賀	204	11	176	7	21	0	18	1
京都	137	−49	106	−35	9	1	16	0
大阪	99	−4	69	3	23	9	14	−1
兵庫	564	−143	392	−85	76	7	98	−14
奈良	6	−2	0	0	0	0	2	0
和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取	1,487	−177	1,462	−182	1	0	86	0
島根	193	−36	151	−33	20	−19	21	−4
岡山	1,147	−209	1,078	−199	4	−5	101	5
広島	340	−41	307	−22	63	−3	50	−3
山口	216	−30	187	−35	4	0	25	0
徳島	43	−57	3	0	16	0	5	−6
香川	51	−17	51	−8	0	0	8	0
愛媛	263	−67	115	−19	16	−7	38	−5
高知	109	−10	63	−8	23	21	12	0
福岡	1,020	−166	729	24	11	−53	107	−13
佐賀	102	1	68	−13	5	−8	16	−2
長崎	137	−28	133	−27	3	2	35	−3
熊本	3,064	−567	2,553	−480	375	−17	447	−22
大分	518	−101	381	−98	29	−13	17	−6
宮崎	842	−107	632	−36	108	−49	198	−10
鹿児島	1,302	−151	1,192	−155	52	−7	127	−12
沖縄	150	−63	32	4	45	−31	28	−2
国・牧場	5	5	0	0	0	0	0	0
事業団	0	0	0	0	59	12	0	0
合計	30,380	−4,073	23,033	−2,392	1,843	−511	3,852	−339

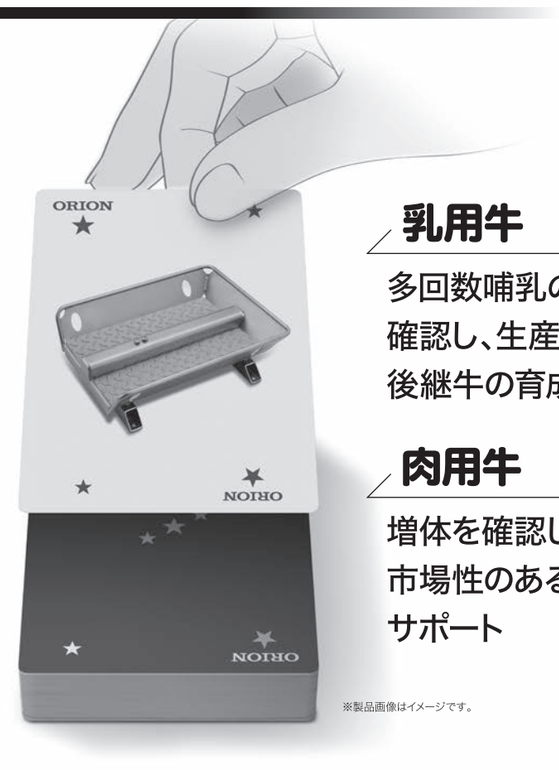
日本ホル協特集

叶えよう 家族と牛と 豊かな未来　ORION

体重計

哺乳ボックスや
スターターに取付ける
前足用体重計です。
増体に応じた個別給与が
可能です。

※カーフフィーダー デーリィフィードJスマートのオプション品です。



乳用牛
多回数哺乳の効果を
確認し、生産性の高い
後継牛の育成をサポート

肉用牛
増体を確認して
市場性のある子牛育成の
サポート

※製品画像はイメージです。

オリオン機械株式会社
www.orionkikai.co.jp
北海道オリオン株式会社 tel.011-865-3111
中央オリオン株式会社 tel.048-522-5395
西日本オリオン株式会社 tel.092-477-8480
Facebook　YouTube　牛乳でスマイルプロジェクト

乳牛のことなら・・・
ホル農協にお任せください!!
HOKKAIDO

２０２４　北海道ホルスタインナショナルショウ
開催期日／令和６（2024）年９月28日（土）～29日（日）
開催場所／北海道ホルスタイン共進会場（勇払郡安平町早来新栄）

2024 ゴールデン ナショナル セール【9月28日 17：15～】
★国内最高の遺伝資源を集め開かれる日本一の乳牛セール

市場
開催日／毎週火曜日 受付 8:00～ セリ 9:00～
場所／勇払郡安平町早来新栄
TEL0145-22-2288
新千歳空港から車で約 15 分
出品家畜／乳牛、乳廃牛、初生犢、肉牛、馬、羊

斡旋
豊富な経験と
確かな情報をもとに、
皆様のご用命にお応えします。
選定から価格交渉、輸送、
事故補償まで
サービスも万全!!

《市場・斡旋のお問い合わせは》 ホルスタイン農協 経済部まで
北海道ホルスタイン農業協同組合
〒001-0015　札幌市北区北 15 条西 5 丁目 1-5
【代　表】TEL 011-726-3111　FAX 011-726-3111
【経 済 部】TEL 011-726-3114　FAX 011-700-2837
ホームページアドレス：http://www.holstein.or.jp/